

ネパールの民主主義 左派化する南米の政権

はじめに

☆第一圏域(日本、アメリカ)

☆第二圏域(ネパール ペルー ボリビア 中国)

…ネパールでは今ゼネストが行われています。

1846年～1951年 ラナ一族の宰相による支配

1951年 王政復古

1990年 立憲君主制となり三権分立が確立

1996年 ネパール共産党毛沢東主義派(マオイスト)が
「人民戦争」と称した反政府活動を活発化

2001年6月 王族が殺害される事件があり、ギャネンドラが王位についた。

2004年8月 イラクで労働者が武装勢力に殺害され、
政府が海外労働者の保護を怠ったとして市民が暴動を起こした。

2005年2月 国王が和平交渉遅滞の責任を問うて議会・内閣停止。直接統治を開始。
絶対君主制に対して民主化を求める議会、政党各派とマオイストが
連合する動きがおこる。そしてこのゼネストにつながる

- ・武力のない議会派
- ・アメリカが国軍を支援
- ・国王派とマオイストの内線多発

☆第三圏域(エチオピア…)

…干ばつ、エリトリアとの国境戦争、世界最貧国

☆第一圏域と第二圏域との関係(ボリビアとアメリカ)

- ・コカ産出国として世界第三位のボリビア・カストロ-チルドレン、モラレス大統領
- ・広がる南米の左派化する政権、そして接近する中ロ

おわりに

- ・ワードポリティクス パワーポリティクス…「資源」というカード

【参考資料一覧】

・日本経済新聞日刊より

2006年4月	15・16・17日	一面「揺動する世界」
	7・9・19日	国際面 ネパールゼネスト

・朝日新聞日刊より

2006年4月	7・9日	7面 ペルー大統領選
---------	------	------------

・毎日新聞日刊より

2006年4月	9日	4面 ネパールゼネスト
2006年1月	10・23・26日	ボリビア大統領選
2002年7月	10日	〃 (夕刊記事)

・NEWSWEEKより

2006年4月19日	「国際情勢入門」
------------	----------

・世界週報より

2001年7月3号	「憶測を呼ぶネパール宮廷の惨劇」
-----------	------------------

【参考文献】

田中 明彦『新しい中世』日経ビジネス人文庫 2003年

菊池 良生『戦うハプスブルク家』講談社現代新書 1995年

佐伯 和彦『ネパール全史』明石書店 2003年

宮脇 幸夫『辺境の想像力ーエチオピア国家支配に抗する少数民族ホール』世界思想社 2006年



